月　日 名前　　／100点

【答え】

【小4】国語 文章問題　物語文 5

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

夏休みの自由研究に、ぼくはミニトマトを育てることにした。毎日水をやり、大きさをはかって、ノートに書くつもりだった。

ところが、八月のはじめ、家族で三日間旅行に出かけているあいだに、はちの土がからからにかわいてしまった。家に帰ると、ミニトマトの葉は、くたりと下を向いていた。

「もう、だめだ。」

ぼくはノートをとじた。これでは、自由研究にならない。

その夜、お父さんがノートを開いて、じっと見ていた。

「よく書けてるじゃないか。」

「でも、かれちゃったんだよ。」

お父さんは、最後のページを指さした。

「かれたことも、書けばいいんだよ。水をやらないと、何日でこうなるのか。それが分かったのは、大事な結果だ。」

ぼくは、はっとした。うまくいったことしか、書いてはいけないと思っていたのだ。

次の日から、ぼくはまた水をやりはじめた。かれた葉は元にもどらなかったけれど、下のほうから、小さな新しい葉が出てきた。ぼくはそれも、ノートに書いた。

夏休みの終わり、ノートのさいごには、こう書いた。「しっぱいしたから、分かったことがあった。」

教室でノートを見せると、先生はそのページに、赤い花丸をつけてくれた。

（この問題のための書き下ろし）

問一　旅行から帰ったとき、ミニトマトの葉はどうなっていましたか。本文から十五字までで書きぬきましょう。

く	た
た	
り	
と	
下	
を	
向	
い	
て	
い	
た	

問二　「ぼくはノートをとじた」とありますが、このときのぼくの気持ちとして、いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　ミニトマトがかれて、自由研究にならないとあきらめる気持ち。

イ　自由研究が早く終わって、ほっとする気持ち。

ウ　お父さんにノートを見せたくて、わくわくする気持ち。

ア

問三　「ぼくは、はっとした」とありますが、ぼくはどんなことに気づいたのですか。四十字までで書きましょう。

う	く	か	な
と	も	、	分
か	っ	た	こ
と	と	し	て
書	け	ば	大
事	な	結	果
に	な	る	こ
と	。		

問四　ぼくは、ノートのさいごに何と書きましたか。本文から二十字までで書きぬきましょう。

し	っ	ぱ	い
し	た	か	ら
、	分	か	っ
た	こ	と	が
あ	っ	た	

【小4】国語 文章問題　物語文 5　答えと解説

問一（二十五点）　答え：くたりと下を向いていた

解説：二つ目のまとまりの最後の文から。

問二（二十五点）　答え：ア

解説：すぐ前の「もう、だめだ。」と、すぐあとの「これでは、自由研究にならない」から。

問三（二十五点）　答えの例：うまくいかなかったことも、分かったこととして書けば大事な結果になること。

解説：お父さんの言葉と、すぐあとの「うまくいったことしか、書いてはいけないと思っていた」から。二つが入っていれば正かい。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①かれたこと（うまくいかなかったこと）も書いてよい

②それも分かったこと（大事な結果）になる

問四（二十五点）　答え：しっぱいしたから、分かったことがあった

解説：終わりから二つ目のまとまりから。お父さんの言葉で、ぼくの考えがかわったことが分かる。